

祥明大學校短期研修を終えて

総合管理学部 1年 島添 景子

今回、私が祥明大學校短期研修に参加した目的は、以下の**3**つのことについて学ぶためでした。

1つ目は、韓国の文化です。衣食住、教育、環境など多くのことを学んだ中で、特に関心を持ったことは、食事のマナーと兵役の義務でした。実際にホストファミリーにお世話になり、一緒に食事を楽しむ中で、目についたことがありました。それは、食事の際に肘をついたり、あぐらをかいていたことです。日本ではきちんと座り、行儀よくしなければなりません。このことについて尋ねると、韓国では日本のようなマナーはないということを言われました。少し衝撃を受けましたが、これも異文化ならではの体験と思うと、とても興味が湧きました。そして、兵役について聞いてみたところ、ホストファミリーの長男を兵役に送り出したばかりであることを知り、驚きました。韓国のニュースを見て少しばかり知識はありましたが、これほど身近に感じるとは思っていなかったので、異文化をより実感しました。その訓練はとても厳しく、苦しいものであると知り、日本で言う自衛隊を連想し、そこに男子全員が入り、鍛えられると思うと、日本では考えられないと感じました。しかし私は、韓国の兵役の義務は精神を鍛えられるので、いい制度だと関心を持ちました。朝と夜、ほぼ毎日長男から電話がかかり、ホストファミリーは嬉しそうに話していました。会えない寂しさから家族愛を感じ、幸せな気持ちになりました。



2つ目は、竹島問題です。この問題については、触れたら関係が崩れるのではないかと不安になりましたが、この機会に聞いてみました。すると、はっきりとは言われないものの、やはり国民なので自分の国が一番だという意見が返ってきましたが、そこで日本を批判したりする人はごく一部であることを知り、安心しました。それでもなお、大事な一社会問題であるので、これからも解決に努めることを忘れてはならないと感じました。韓国で生活している中で、日本の車や製品を見ると、お互い助け合っていることが感じられ、交流がもっと深まって欲しいという気持ちになりました。



3つ目は他国の人に囲まれて生活することで、コミュニケーション能力、語学、礼儀、感謝の心を備えることです。私は将来、自分から進んで他人とコミュニケーションをとれる人になりたいという思いがあります。その力をつけるべくこの研修期間でなるべく多くの人と交流を深めようと、積極的に声をかけました。その中で、祥明大學生から学んだことがありました。それは、韓国の方の感情表現の豊かさです。よく、外国人はジェスチャーを使ったり、顔の表情が豊かだという印象がありますが、韓国人もそうであると感じました。お互いに質問し合ったりしている中で、話しを

聞いている祥明大學生の姿から相手への敬意を感じとることができました。なぜなら、驚いたとき、嬉しいとき、がっかりしたときなど、顔の表情や言葉でより大きく話し手に伝えていたからです。これにより、私が話しているとき、もっと話したいという気持ちになりました。このことから、コミュニケーションをとるときには、話し手が話しやすいよう



に相づちをとりながら聞くということ学びました。語学の面では、授業ではなかなか学べない日常的な会話に触れることができました。ホームステイの友達同士の会話に耳を傾けると、韓国ドラマで聞いたことのあるようなネイティブな単語も聞こえ、ますます韓国語に興味を持ちました。分からない単語などは積極的に尋ね、より勉強になり、日本に帰ってから、韓

国語の勉強に精を出そうと思いました。祥明大学のフォーラムや授業に参加した際、教授の方が時に日本語も交えながら授業をして下さり、楽しく受けることができました。授業の休み時間には、逆に日本で流行している言葉や方言を教えたりして、興味を持ってくれると、こちら嬉しい気持ちになりました。外国の人と話すことがこれほど楽しいものだと思ってもみなかったのも、大学では有意義な時間を過ごせました。韓国の地下鉄も経験し、車内にいると自分も韓国人になったような気分になり、気持ちが高まりました。そうして、一週間はあっという間に過ぎ、日を追うにつれ、別れが寂しい気持ちが募りました。

ホストファミリーは本当に優しくして下さい、早朝にもかかわらず朝食の準備、洗濯など、まるで家族のように接して下さいました。日本では食べることのできない家庭料理もたくさん味わうことができ、日本料理との違いも感じられました。夜、帰りが遅くても待っていてくれ、改めて自分はどんなときも支えられて生活していることを実感し、感謝の気持ちで溢れました。



最後に、祥明大学校短期研修を終えて、私は、普段味わうことのできない貴重な体験ができました。海外に行ったことで世界が広がり、さまざまな国の人々が支え合って世界が成り立っていることを実感しました。これからも今回の研修で出会った方々との関係を大切に、日本と韓国間の支えになりたいです。私は将来、国際交流に携わる仕事をしたいという気持ちがこの研修に参加して、よりいっそう強まりました。さらに、もっと色々な国を知りたいとも思いました。世界に日本のことをたくさん知ってもらいたいし、日本人に外国には素晴らしい人々がいることを伝えたいと感じました。私は大学に行っているからこのような体験ができたので、家族へのありがたみも感じています。この研修に参加させていただいた両大学、引率の先生方にも感謝の気持ちでいっぱいです。この経験を生か

して、国際交流に参加すること、コミュニケーション能力の向上、常に感謝の心を忘れず、
これからの生活を過ごして行きます。